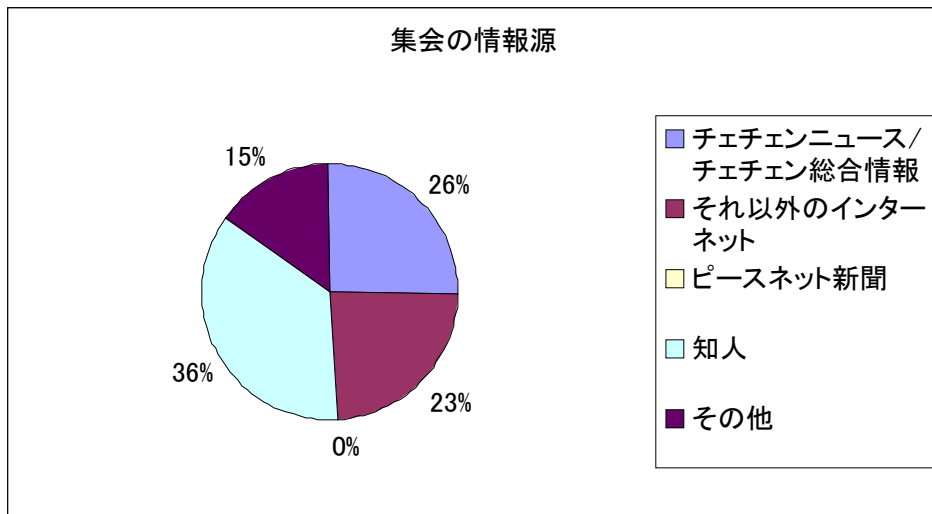


2005年5月7日 「チェチェンで何が起きているのか」  
—トルコにおけるチェチェン難民報告—

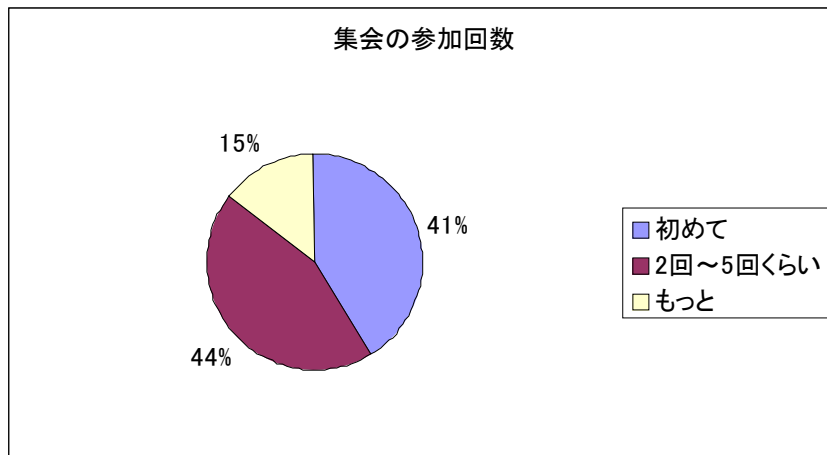
アンケート結果（選択回答編）

- どちらでこの集会のことを知りましたか？



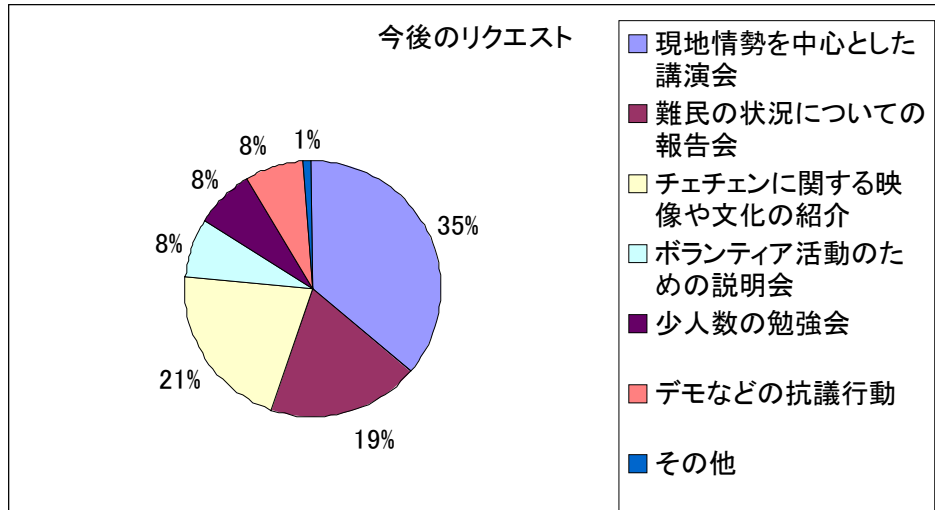
内訳は「チェチェンニュース/チェチェン総合情報」が10名、「それ以外のインターネット」が9名、「知人」が14名、「その他」が6名（うち3名は葉書）

- 初めてチェチェン関係の集会に参加されましたか？



内訳は「初めて」が14名、「2回～5回くらい」が15名、「もっと」が5名

● 今後、どんな集会を期待されますか？



内訳は「現地情勢を中心とした講演会」が 29 名、「難民の状況についての報告会」が 15 名、「チェチェンに関する映像や文化の紹介」が 17 名、「ボランティア活動のための説明会」が 6 名、「少人数の勉強会」が 6 名、「デモなどの抗議行動」が 6 名、「その他」が 1 名。「その他」の意見としては「日本政府（外務省、国会 etc へのアピール）」。

（注：複数回答や欠損値があるため各項目の総数は一定になっていない。）

アンケート結果（自由回答編）

● 集会についてのご感想をどうぞ。聞き足りなかったことなどがあれば、お書きください。

チェチェン難民の様子がほぼリアルタイムで分かったのが良かった（トルコの姿勢の変化など）。日本の閉鎖的姿勢は問題だが、国民の意識（利害関係のない少数民族に対する無関心）も変える必要があると思う。

よかったです。

若干、質問にてヨーロッパ諸国の対難民態度を云々申し上げてしまいましたが、「ヨーロッパは比較的好い方だ」→「むしろ日本などが態度を変えるべきだ」といった発想が私には欠如しておりました。改めて、日本の認定率の低さ、かきねの高さを感じ、怒りを覚えました。

国内に働きかけていくこと、これも肝心で大事なことであり、それから国連人権委員会の欺瞞的体質等に訴えていくべきですね。

トルコでの動きなど、現在動きつつある世界情勢がわかって面白かったです。

チェチェン人がクルド人を見下げユダヤ人を嫌うという現状。「民族の分離・独立かつ階級的な結合・連帯」という原則が大切かも知れない。その意味で、もっと「カフカス・フォルム」の理念や活動について知りたい。

日本（外国）がチェチェン問題にどうかかわりを持つべきかということについて参考になることが多かったです。

トルコのチェチェン難民の状況がはじめてわかりました。難民認定が出るようになったのは喜ばしいことですが、チェチェン戦争が終らなければ解決しないことですね。もっとチェチェンのことが多くの人に知られていればと思います。それにしても難民に冷たい日本にいきどおりを感じます。チェチェンの人を受け入れる（チェチェン人だけでなくクルドもそうですが）国にしていく責任が私たちにはあると思いました。

遅れて参加しましたので「聞き足りない」ことばかりで残念です。

遠いのでなかなか来られませんが、情報だけでも得たいと思います。今後も活動が続き良い結果となるよう願います。

チェチェン問題の背景を知らない人には若干不親切かもしれないです。簡単なパンフレットがあるといいと思います。国際政治のダイナミズムの中で、日本はやはり外交音痴だなあという点、改めて考えさせられました。

非常に参考になりました。実際の活動を直接聞ける場は貴重だと思うので、また企画していただければ幸いです。

常岡さんが無事でなによりです。

周さんの率直な報告は伝わるものがありました。ビデオに関してもう少し説明がほしかったです。

テラサワ氏が言っていたという意見「日本をチェチェン難民にとって住みやすい国にす

ることが、日本のチェチェン支援者の責任だ」は大正解だとおもう。

文京区のシビックセンターで催して頂ければありがたいのですが。

良い会だったと思います。出来るだけテーマを絞り込んで、回数を多くひんぱんにやられていくことが大切だと思いました。

会の中で、最前列の女性が、いろいろ質問されていて、みなさんは苦笑いで流してらっしゃいましたが、あの方の言ってることの半分くらいは真っ当だったと思います。つまり、チェチェンをよくわからない私たちにもより状況がわかるよう、詳しく説明をしてほしいということです。でも今日はいろいろ興味深いお話をありがとうございました。

予備知識なしで状況が伝わるというのはよかったです。やはり、日本全体で考えるべき問題は多いと思いました。身近な問題と国際問題との関わりをわかりやすく伝えることができれば、関心を持つ人も増えると思います。どれだけ問題をひきよせられるのかが今後のポイントですね。正確さを重視して初めてきた人がびっくりするような状況はちょっと疑問です。

集会自体についてですが、この集会を開いている動機や基本的スタンスが分かりませんでした。寺沢さんという方がチェチェンの若者に教育を受けさせるという案はいいと思いますが、教育を受けた若者がどうチェチェンに貢献するかなどよく分かりませんでした。支援者を増やすための集会ならば、基本的な方針や目標、主な行動内容を文面にして、パンフレットなどに載せるべきだと思いました。その様なものがなければ、共同声明にも賛同できません。この集会の基本憲章を作るべきだと思います。何回も来ている人ならやっている事が分かるかもしれませんが、初めての人には全く分かりません。

チェチェン紛争の平和的解決とは何か？独立なのか、それとも戦闘の終結なのか？独立したら問題が解決するのかわからないので、難しい問題だと思った。常岡さんの弟子になりたいなと思いました。紛争地域の取材をするジャーナリストになりたいと思っています。何でもやります。お願いします。

常岡さんの報告が印象的だった。ただチェチェン問題はロシアの国内問題としてとらえられていて、国際社会の圧力がなかなかとどきにくいのはがゆさがある。またチェチェン報道というのがなかなか本質を見せていない気がする。常岡さんの報告が、チェチェン問題の本質をみせている気がして、興味深かった。周さんの難民に関する報告もよかった。現地の生の声がきけてよかった。

トルコがチェチェン人の難民認定を始めた背景に EU からの圧力があるとのことでしたが、このトルコの行動に対して実際、EU はどんな反応を示しているのでしょうか？今後の加盟交渉はどのように進むのか、お伺いしてみたかったです。本日は、チェチェン問題初心者の方にもとても興味深いお話、ありがとうございました。紛争地域に直接行って取材をした話を直接伺えた事は、ジャーナリスト志望の自分にとってとても刺激になりました。ぜひまたお話を伺える機会を楽しみにしています。

どうもありがとうございました。やくに立ちました。チェチェンの問題については日本人もなんといいてもこくさいきょうりょくがひつようと考えていることをみてうれしくなりました。このてんはとてもじゅうようだと思います。

#### ● 共同声明（案）について

<賛同した 26 名の中からのコメント>

ウクライナと、日本と、世界の平和の為にはたらく、寺沢上人に権利と自由を！

「声明」ではなく「要請書」だと思う。ということは数は力となる。オレンジ革命の本質をもう一度、分析し直した方がヨイかも知れない。

ウクライナは変わったと思ったのに、寺沢上人を受け入れないのはひどいです。

ウクライナのオレンジ革命は報道そのままを信じてはいけないと思うが・・・。

<その他 3 名のコメント>

よくわかりませんので

「宗教家」という観点が納得しがたい。－日本人という一点のみでも不当な入国拒否は許容できないことであると思うが、この声明文はポイントがずれていると思う。

すみません。わかりませんでした。

---

以上